

3/11
(火)

復興への思いを新たに 東日本大震災追悼復興祈念式

パルセいいざか（福島市）

ceremony

東日本大震災から14年が経過し、当時の思いを風化させないことを目的に開催された祈念式。地震発生時刻の14時46分には黙とうがささげられました。伊達市からは代表として須田市長が出席し、献花しました。追悼の辞にて石破茂首相は「震災による大きな犠牲のもとに得られた貴重な教訓を風化させることなく、後世に継承してまいります。世界一の防災大国にすべく力を尽くしてまいります」と述べました。



3月

仲間とのたくさんの思い出を胸に 市内各地で卒園・卒業式

伊達市内

ceremony

認定こども園から高校まで、市内各地で卒園式や卒業式が行われました。共に生活し、大きく成長した仲間との別れを惜しみながらも、4月からの新しい環境に胸を弾ませ、市内の園児・児童・生徒が証書を受け取りました。途中、涙ぐむ生徒の姿も見られましたが、最後まで凛とした姿勢を先生や保護者に見せ、胸を張って会場を後にしました。輝かしい未来へ向け、さらなる1歩を踏み出した卒園児・卒業生の皆さんを応援します。



3/2
(日)

耳の日（3月3日）記念！ 誰もが安心して暮らせるように

保原体育館

welfare

伊達市では初開催となる「第43回福島県ろうあ者福祉大会」。511人が参加し、式典では須田市長が手話を交えて大会の開催を祝い、「住み慣れた地域で安心して暮らせる共生のまちづくりを進めていきます」とあいさつしました。参加者は、旧優生保護法の問題を描いた映画「沈黙の50年」の上映、全日本ろうあ連盟理事の吉野幸代さんによる講演で多くのことを考え、併せて物品販売・作品展示を楽しみました。



3/2
(日)

まちに響き渡る掛け声 「つつこ引き祭り」大盛り上がり

保原町 巖島神社

event

五穀豊穡や家内安全を祈い開催される「つつこ引き祭り」。当日の会場には、市内外問わず多くの観覧者が訪れ、大盛況の様子でした。子どもたちの綱引きでは、手に汗握る大勝負が繰り広げられ、壮大な太鼓の音に掻き立てられて行われた一番乗り競争やつつこ引き合いは、勇壮なものとなりました。一番乗り競争で優勝した芦野優斗さんは「初めて参加しましたが、そこで一番になれてうれしいです」と感想を述べました。



2/23
(日)

「景色の感動を鮮明に伝えたい」 霊山四季の写真コンテスト表彰式

りょうぜん紅彩館

photo

名峰霊山をテーマに、51枚の応募があった本コンテスト（主催：霊山観光まつり実行委員会、共催：伊達市）。式では森藤洋一実行委員長より賞状が手渡され、四季折々の霊山を写した入賞者を表彰しました。最優秀賞を受賞した佐藤佳祐さんは「登るたびに違った顔を見せる魅力があふれる霊山。今後もまだまだ写真を撮っていききたいです」と感想を述べました。入賞作品は、りょうぜん紅彩館と道の駅伊達の郷りょうぜんにて展示していますので、ぜひお立ち寄りください。



3/1
(土)

互いの活躍を心から願い 聖光野球部3年生を送る会

聖光学院高校野球部練習場

sports

卒業式後に聖光学院高校野球部で行われた3年生を送る会。下級生から3年生一人一人へ色紙や花束を贈る際には、涙ながらに抱き合い、言葉を交わす場面もありました。竹内啓汰主将は「3年生から教えていただいたことをさらに発展させ、より良い聖光学院を築いていきます」と送辞を述べ、佐藤羅天前主将は「どれだけ強い相手に当たろうと、聖光学院の生き様を見せて、絶対に日本一を達成してほしい」と激励しました。



2/17
(月)

「愛される橋になってほしい」 塩野川橋の橋名板を取り付け

塩野川橋

ceremony

伊達市梁川町字南町谷川地内の塩野川橋で開催された橋名板取り付け式。県では、令和3年度から塩野川橋工区として道路整備事業を進めており、式は完成する橋梁を末永く親しんでもらうために行われました。橋名板を揮毫した梁川、堰本、栗野小学校の児童は、橋の両端（計4カ所）に橋名板を取り付け、橋の完成を喜びました。参加した児童と保護者からは「重要な橋に橋名板を付けられて良かった」と感想を述べました。



2/22
(土)

友好交流都市協定締結10周年 友好の証「ハス」の里帰り

梁川八幡神社近傍水田

project

伊達市と草津市の友好交流都市協定締結10周年を記念し、10年前に草津市から伊達市へ寄贈されたハスの一部を伊達市から草津市へ里帰りさせる事業を実施しました。伊達市でのハスの掘り起こし作業では、草津市から草津北部まちづくり協議会会長や草津市建設部長を含めたゆかりのある4人がお越しくださいました。また、3月1日④には草津市で、草津市長と草津市内の子どもたちによってハスの植込み作業が行われました。今後も、両市の交流をより一層深めていきます。

